

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 Equipped For a Purpose 「常に備えあれ、目的に向かって」
 アジア会長標語 The New Millennium, The New Y's Men 「ニューミレニアム、ニューワイズメン」
 西日本区理事標語 「イノベーション(革新) - 理想のワイズを求めて」
 中部部長標語 「ワイズは自然体で新世紀へ」
 クラブ会長標語 「ワイズを楽しもう！」

2000年 9月号

< 今月の聖句 >

「神は愛するものたち、つまりご計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、私たちが知っています。」

ローマの信徒への手紙 8章28節

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2000年9月例会ご案内

第一例会

と き : 9月2日(土)・3日(日)
 と ころ : 根ノ上キャンプ場
 時 間 : 19:00~
 内 容 : 長井潤氏(名古屋クラブ)を招き、10周年事業案「根ノ上再生」を考える。
 バーベキューを用意します。差入れ等大歓迎。

第二例会

と き : 9月26日(火)
 と ころ : 名古屋YMCA
 議 題 : 10周年について
 サンドルIBC など

その他

中部部会

と き : 9月15日・16日
 と ころ : 金沢

南山クラブ30周年

と き : 9月23日(祝)
 と ころ : アイリス愛知
 時 間 : 11:00

サンドルクラブ訪問

と き : 10月13日~15日

8月例会	例 会 出 席 状 況			B Fポイント		クラブファンド(8月)	
	在 席 者	24名	第 1 例 会	19名	当 月・切 手		ニコBOXノート
例会出席者	20名	第 2 例 会	10名	当 月・現 金		感 謝 ファンド	
当月出席率	83.33	部 会 他	1名	累 計		累 計	9690

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う=

8月第一例会報告

IT革命って何？どうなるの？

今私達の日常では「IT」「IT革命」というコトバをよく見かけますが、感覚的にはインターネットに関係するものだと分かっていても、でもよくわからない。何なんだ！が、みなさん共通した気持ちではないでしょうか。そこでこの機会に勉強しようということで、第一例会はITの専門家NTTの山田氏による「身近なIT（情報技術）革命」というテーマで講習会を受講しました。大要は以下のとおり。

IT（情報技術）とは...マルチメディアと同列のもの...マルチメディアとは、「場を越える手段」「双方向」「通信と放送の融合」。つまりパソコンで情報を収集し情報を発信する。いわゆるインターネットを利用した仕事・遊びでの情報交換とのこと。特に印象的なことはIT市場は爆発的發展状態であること。一般家庭電話が76年かけて世帯普及率100%になったことをインターネットは5年で成し遂げた。今国内では2700万人が利用している。

ITをビジネスに利用すると何が変わる？パソコンはどんどん安くなっている。通信は高速化し料金も低下している。今あるテレビ・ビデオカメラを利用したマルチメディア会議で時間節約とコスト低減。最新情報（新聞・商品・時刻表等）はインターネットで即座に手に入る。受注側・発注側は在庫、受注情報を共有でき注文、請求業務が迅速かつ正確に流れる。稼働軽減 コストの低下。これらは誰でもできること。今あるパソコンにインターネットを繋ぐだけ。では、ITで何をやるか。

商品のデザイン、アイデア等をインターネットで募集。これはすでに行われており、生産・販売の調整も可能。オークションは既に実用化されており、グランパスのファンもこれを利用すれば拡大可能。等々。インターネットでは未だ金を掘り当てた者はいないとのこと。ゴールドラッシュはまだこれからです。あなたにもチャンスはあります。チャレンジして下さい。

NTT-PLANETのプレゼンテーションルームでの講義はいかがでしたでしょうか。通常例会とは違った雰囲気です。少し緊張した空気に包まれたメンバーは二次会で大いに発散できたようです。当日は偶然にも加藤兄の写真展が同ビル2Fで開催されており、いつも加藤兄が写真撮っている所しか知らないメンバーには、彼の写真道に少し触れることができました。収穫あり。

荒川恭次

コンピューターも「両刃の剣」

服部庄三

7月初めに私の所属する企業家をつくるある会のホームページで事件が起こりました。

会員のひとりがホームページの中の会員名簿を

まるっとコピー盗用し、自分のホームページ上であたかもその会の管理者であるがごとく、経済交流を促すサイトを作ってしまったのです。

発見した会のホームページを管理する部所では即刻抗議するとともに、すぐに関係先にも経過連絡しました。会全体としても大きな問題となり、一時は裁判にとの声が出るほどまで発展しました。紆余曲折はありましたが、やっと7月末にコピー名簿は削除させることができました。まだ歴史の浅い、なんでもあり状態のインターネットに対応すべく著作権法も改正され、コピーに対しては著作権侵害としています。

会のホームページにリンクする形であれば、PRにもなり逆に大歓迎なのですが、コピーとなると大違い。一見同じように感じますが、元のページは管理者により日々更新され、情報がどんどん新しくなったり、訂正されていきます。

しかしコピーされた情報はその時点で管理者や発信者の手を離れ、死んだ情報となっています。内容によっては過去の間違った情報が、訂正や削除できずにそのまま残ってしまう危険性が十分考えられます。

インターネットにより大量の情報が時間と空間を越えて簡単に受け取れる便利な時代になればなるほど、その裏に大きな危険性もはらんでいます。

今回の著作権の問題、個人情報（プライバシー）の問題、ネット犯罪等など。私も今回の事件を機に業界にたずさわる人達から裏側の話をいろいろお聞きし、勉強になりました。これからは私達の身近な生活のなかでもIT革命は避けて通ることの出来ないものですし、進めていかなければなりません。ただ進めていく上でまだまだ利便性と危険性の「両刃の剣」であることも、常に頭の片隅に置いておく必要があるのではないのでしょうか。



日和田特集

今年も日和田の火祭りが盛大に開催されました。もちろんグランパスは参加しました。日和田ではもうレギュラーポジションの我クラブ。今年はどうな活躍をみせたのか。

今年も日和田の火祭りに出店！！ めいっぱいファンドを作るぞ！！

8月5日(土)朝8時に恵那峡サービスエリア集合。11名(早川ファミリー、坂野ファミリー、坂倉ファミリー)が集まりました。阿部会長は、自慢のオートバイのエンジンがかからず8時少し前に自宅を出発。中津川インターを出て少し走っていると後ろからもう阿部会長のオートバイがやって来ました。

そんなこんなで11時半ごろ日和田高原に到着。到着してみると出店場所がいつもと違う場所。なんとなく人の流れが少なそうに感じられます。でも、とにかくお店の準備をしているとなんと！雨がパラパラ...しばらくするとザーザー...なんとなく、くらあーい気持ちになってきました。

お店をはじめてもお客さんは、パラパラ。そこへ、亀ちゃん登場。手をドロだらけにしながらかつの中に水がはいらなように水の道作り。吉田夫妻、そしてしばらくあとに池野さんに乗せた坂口&松原ファミリーが、到着。お店のテントの裏でビールにワインに串焼きにバーベキューに昼寝...と何でもあり。

お店のほうは、さすがグランパスの日和田火祭り名物「トイレットペーパーくずし」です。景品がいいのか？お店のおねいさんがかわいいのか、おにいさんがカッコいいのか例年のようにお客さんがきてくれます。コメントの物売り、水風船もそこそこです。

夕方近くに加藤元さんが登場。これでフルメンバーがそろいました。

6時半ごろ、たいまつ行列がはじまり、7時はんごろ、大かがり火点火。最後に花火の打ち上げで無事火祭りの終了。売上の集計は、できていませんが、約2万円のファンド作りができました。

坂倉 洋

ひわだこうげんの、にほんーかがりびまつりにいきました。ふうせんつりのおてつたいをしたり「いらっしゃい！」っていたりしました。

よるになって、たいまつぎょうれつにおともだちとでました。うちあげはなびもあってそらから(はなびが)ふってきそうでした。

さかくら みえい

火祭り参加者：池野、坂口、松原、松原コメント(しんすけ)、早川、早川メネット、坂野、坂野メネット、坂野コメント、阿部、加藤元、吉田正、吉田メネット、坂倉、

坂倉メネット、坂倉コメント(2名)、
亀谷。 ゲスト2名(浦、深谷愛)



2000 かがり火祭り

今年も日和田高原かがり火祭りの日、8月5日早朝晴天に恵まれ8時に恵那サービスエリアにて集合、坂倉兄・メネット・コメント&私共とゲスト浦さん・深谷さん・坂野兄・メネット・コメント全員9時近くに出発。

この夏の暑さは特別の気もしたのですが、少しずつ気温が心なしかさわやかなになり、気分も上々です。道の駅にて阿部会長と合流、かなりの早さで追いついた様子。

コンビニで少しお菓子等を調達し、一路日和田へ順調なドライブです。日和田へ11時頃には到着、山の気温は涼しく、荷物を下ろし露天商の始まり。

となりの土曜クラブはまだ誰も来ていない。今年は場所が奥の方なので少し不安です。山の天気は気まぐれで朝の晴天がうそのように、空が曇り雷と同時にすごい雨が降り出し、まだこれからという時に気分が少しずつブルーになり、どうなることやらと先への不安がつるばかり。

赤字になるのでは残った品物をどうしようかとか、頭の中はどんどん暗い方へ進む。池野兄・坂口兄・松原兄・コメント・亀谷兄がそれをうち消すように到着し昼食の準備、吉田兄・メネット合流、加藤兄もカメラを持って登場。これで雨さえ上がればがんばれる！。

空も少しずつ回復し、子ども達も少しずつ集まり賑やかに。まだ頭の中は赤字になるのではという思いが離れず少しブルー。しかしメンバーのがんばりでどんどん商品もなくなり、暗くなる頃には品物が足りなくなるほど。これで赤字は解消か。会計報告は後日させていただきます。毎年かがり火祭りに来ていますが、かがり火にはいつも感激しています。また来年も頑張りましょう。

早川政人

「日本一の火祭りのイベント に教えられる」

～ 900 人 / 3 万人 ～

今年も人口 900 人の高根村に 3 万人余の観光客が 8 月の第 1 土曜日に日本一のかがり火を見に中部各地から大挙して標高 1300m の小さな村に集まってくる。

地域活性化や村おこしのために全国の過疎地では観光事業に力を入れ、温泉を掘り日帰り客主体のレジャー施設を建設、なつかしのフォークソングやジャズ好きを特異対象として大々的開催。

最近では地域の特産物を目玉商品とした、宿泊型や通年型の農場・酪農の体験参加プログラム開催など、それぞれ地域の特徴を明確にして幅広い活動が展開されている。

同時にただ開催するだけでなく、その地域の人材活用や都市からのボランティア導入を積極的に行っているのも特徴に上げられる。

そしていかに人を集客するか、そのための情報発信の質と量に力を入れ、インターネットや TV 局と共同制作等の情報戦略を最大限に駆使している。

高根村では新たに「国際ワークキャンプ」を 2 週間地元で開催し、参加者自身がコーン畑やデイケアセンターでのワーク、かがり火祭りの準備と徹底した参加型プログラムを展開してそれなりに好評を得ている。

火祭りのイベントを検証してみると、1. テレビ愛知制作の「第 3 回飛騨野麦歌謡祭」。マスメディアの最大活用による集客と TV 愛知・TV 東京・TV 大阪・岐阜放送の放映による地域告知性と拡大、2. 今年の特徴であると思いますが地元出店の優先性（メイン通りでの店配置；地元物産の宣伝、Y M C A の存在感低下した；今年場所は？）3. 一般参加者 1000 名以上による松明行列、4. まぢかでの花火の打ち上げ等。

これを「楽しむ」の要素で考えると、A. 見て・聞いて楽しむ、B. 地元特産物が味わえる、C. 松明行列に自らが参加して楽しむ、D. 普段遠くにあるもものが身近にある（芸能人・花火等）E. 都会にない自然環境等集客率を維持し、高めるための・ATTRACTION・SERVICE・OSPITALTY・要素がこのイベントにはある。

本来、このような展開方法は Y M C A やワイズが得意分野であり、地域に密着した活動、国際的の活動、課題や問題を発信し、それを行動の中で課題解決し地域の信頼や認知を受けて今日まで来た。

しかし、これらの手法は今や企業や小さな村でも行われようになった。

Y M C A 的願い、思い、使命感の価値観が一般普及化されるとともに、異業種が異業種でなくな

った時代にあって 100 周年を迎える Y M C A、それ

を支えるワイズメンズ活動のあり方（本物が本物を創造する、本物が本物を発信する、本物の人をはぐくむ）を真剣に考える時期にきているのではないだろうか。

一夜に 3 万人が集まるイベントを見て。

吉田 正



<http://www.smile.pref.gifu.jp>

例会出席状況

例会種類	一	二	三	四
月	7	7	8	8
日	8	25	5	22
阿部一雄				
荒川恭次				
井川幸吉				
池野輝昭				
馬場寅太郎				
小笠原真清				
加藤元紹				
亀谷龍生				
木野村映				
坂倉 洋				
坂口功祐				
佐藤壽晃				
里 昌信				
高田士嗣				
南里道子				
野口勝彦				
服部庄三				
早川政人				
坂野清治				
藤田留美				
松原 誠				
三井秀和				
吉田一誠	M			M
吉田 正				

...出席

M...メークアップ